

地理歴史科・公民科（公共）学習指導案

1 単元名 持続可能な社会を目指して

この単元は、「2 内容」の「C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち」に該当する。

2 単元目標

- (1) よりよい国家・社会への構築へ主体的に参画し、持続可能な社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決策を構想し、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。
- (2) 持続可能な社会について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

3 単元計画(全体8時間)

(1) 指導計画

- ・課題の設定 2時間
- ・調査活動 4時間（本時4/4）
- ・最終レポート作成 2時間

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・よりよい国家・社会への構築へ主体的に参画し、持続可能な社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決策を構想し、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。	・持続可能な社会について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に追究・解決しようとしている。

(3) 指導内容及び評価計画

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B)具体的な評価規準 (C)具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第1次 (2)	<p>【学習課題】〈単元を貫く問い〉「持続可能でよりよい国家・社会を築くために、現在の日本の課題は何なのか。また、それを解決していくためには、どのような政策を推進していかなければならないのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題の設定</li> <li>・仮説の設定</li> </ul>	<p>【ねらい】単元を貫く問いを理解し、持続可能な社会を築くため、現在の日本が抱える課題の内容とその解決方法を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人でブレインストーミングを行い、課題を整理する。</li> <li>・グループで、持続可能性という観点から、追究する課題を一つに絞る。</li> <li>・ワークシートに課題設定の理由をまとめる</li> </ul>				<p>(B)なぜ、その課題を追究しようと思うのか、論理的に記述している。</p> <p>(C)他者のワークシートを参照させるなどの支援を行う。</p>	・ワークシート1の記述を基に評価する。
第2次 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の現状分析</li> <li>・解決策の構想</li> <li>・グループワーク</li> <li>・発表</li> </ul>	<p>【ねらい】課題の現状を分析し、その解決策を構想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資料を収集し、課題の現状を具体的にまとめる。</li> <li>・課題に対して、現在実施されている政策を調べ、まとめる。</li> <li>・グループで各自が調べた情報を共有し、有効性の観点から政策を整理する。</li> <li>・探究してきた内容を発表する。</li> </ul>				<p>(B)持続可能な社会の形成のための日本の課題について、その解決策とともに、論理的に発表している。</p> <p>(C)発表に対するコメントシートを確認させるなどの支援を行う。</p>	・ワークシート3やグループワークの内容と発表の内容を基に評価する。

第3次 (2)	<p>【学習課題】〈単元を貫く問い〉「持続可能でよりよい国家・社会を築くために、現在の日本の課題は何なのか。また、それを解決していくためには、どのような政策を推進していかなければならないのだろうか。」</p>	<p>【ねらい】単元を貫く問いに対する最終的な自分の考えをまとめ、学習の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表で指摘された事項を整理し、それを基に情報収集などの追加調査を行う。</li> <li>個人でワークシートにここまで調査してきたことを踏まえて、400～600字程度でレポートにまとめる。</li> <li>学習の振り返りと自己評価を行う。</li> </ul>	○	○	<p>【思】5(1)参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート4の記述を基に評価する。</li> <li>ワークシート4の記述を基に評価する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>追加調査</li> <li>最終レポートの作成</li> <li>学習の振り返り</li> </ul>				<p>【主】5(2)参照</p>	

#### 4 本時の指導と評価の計画

##### (1) 本時の目標

持続可能な社会を実現するための日本の課題とその解決策について、資料を基に考察・構想し、それらを論理的に発表できる。

##### (2) 本時の展開

(○…「評価に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会のために今後の日本が推進すべきと考える政策の吟味・分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで各自が調べてきたことを説明しあう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明は一人1分で要旨だけを説明させる。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイヤモンドランキングの作成</li> <li>発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとにダイヤモンドランキングを作成する。</li> <li>①付箋に政策名(キーワード)を記入する。</li> <li>②有効性の観点から、班で共有された政策を今後の日本が重視すべきと思うものから順番に並べる。</li> <li>③その順位にした理由をワークシートに書き込む。</li> <li>発表内容を確認する。</li> <li>①持続可能な社会の実現のための日本の課題内容</li> <li>②その課題を選択した理由</li> <li>③構想した解決策</li> <li>④このランキングになった理由</li> <li>他班の発表を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループに付箋と拡大したランキング表を配付する。</li> <li>他者の意見に配慮しながら、グループ全員が同意できるランキングを作成するように指示する。</li> <li>机間指導をし、できていないグループには1位と最下位をまず考えさせる。</li> <li>発表時間(3分)を意識して発表するように指示する。</li> <li>他班の意見を聞き、新たに得た視点や疑問に思った点は、自分のワークシートにメモしながら聞くように指示する。</li> <li>●ワークシート③及び発表</li> <li>【思考・判断・表現】</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人でワークシートに学習のまとめと自己評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間内に完成しない場合は、次回までの課題とする。</li> </ul>

### (3) 本時の評価規準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例
持続可能な社会の実現のために、現在、日本が抱える課題とその解決策について、資料を基に考察・構想し、根拠を明確にして発表している。
「十分満足できる」状況（A）と判断される例
持続可能な社会の実現のために、現在、日本が抱える課題とその解決策について、資料を基に複数の視点を踏まえて考察・構想し、根拠を明確にして論理的かつ明快に発表している。
「努力を要する」状況（C）と判断される生徒の例と教師の指導
持続可能な社会の実現のために、現在、日本が抱える課題とその解決策について、根拠を明確にして発表できていない。 →A評価のグループの発表を参考に、盛り込むべきポイントをアドバイスする。

## 5 評価問題（評価材料）及び評価規準

### (1) ワークシート4【思考・判断・表現】

【最終レポートの課題内容】
・持続可能な社会の実現のために、現在、日本が抱える課題は何ですか。また、その課題を解決するためにはどのような政策を行っていく必要があると考えますか。理由も含めてあなたの考えを400～600字程度でまとめなさい。

#### 評価規準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例
・根拠を明確にして自分の意見を説明している。
「十分満足できる」状況（A）と判断される例
・自分の意見が複数の視点から考察されたものとなっており、また根拠を明確にして明快に説明している。
「努力を要する」状況（C）と判断される生徒の例と教師の指導
・根拠を明確にして説明していない。 →A評価を得た生徒のレポートを参考にさせ、盛り込むべき視点を指摘する。

※第3次にパフォーマンス課題として個人でレポートを作成させる。

### (2) ワークシート4【主体的に学習に取り組む態度】

#### 評価規準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例
・自分の学習上の課題が記述している。
「十分満足できる」状況（A）と判断される例
・自分の学習上の課題が記述しているとともに、その改善方法や、今後学習したい内容など今後の学習の見通しを立てている。
「努力を要する」状況（C）と判断される生徒の例と教師の指導
・自分の学習上の課題が理解できていない。 →ワークシートを返却する際に、個別にアドバイスをを行う。

※第3次のワークシートの最後に、自分の学習上の課題をまとめる欄を設け、そこに自由記述させる。

## 6 成果と課題

### (1) 成果

実践した結果、生徒の評価は以下ようになった。

	A	B	C
思考・判断・表現	32.5%	67.5%	0%
主体的に学習に取り組む態度	82.5%	17.5%	0%

「思考・判断・表現」については、全員がレポートを提出でき、根拠を明確にして自分の意見を述べることができた。グループワークの中で、さまざまな視点から考察した成果が出たように思われる。特にA評価の生徒の中にはグループワークで出された自説に対する反対意見とそれへの反論をまとめた生徒もいたので、思考を深める問いやそのための手だては適切に設定しなければならないと改めて感じた。

「主体的に学習に取り組む態度」については、生徒が学習上の課題とその解決策を端的に記述できていたため、想定以上にA評価となった生徒が増えた。書いたことが実際の行動変容などにつながったかを継続的に見ていく必要があるように思われる。

## (2) 課題

探究学習を行うための授業時間を確保するため、今まで以上にカリキュラムマネジメントをしっかりと行っていく必要があるように感じられた。学習内容の精選とともに学習形態をどのようにしていくべきかについても考える必要がある。また、評価規準の妥当性を検証する必要があるように感じられた。

## 7 参考文献

- ・『高校 政治経済（新訂版）』（実教出版）
- ・『最新図説政経』（浜島書店）
- ・『(令和2年度)食料・農業・農村白書』（農林水産省, 2021年）